MTSジャーナル Vol.49

2016年10月24日

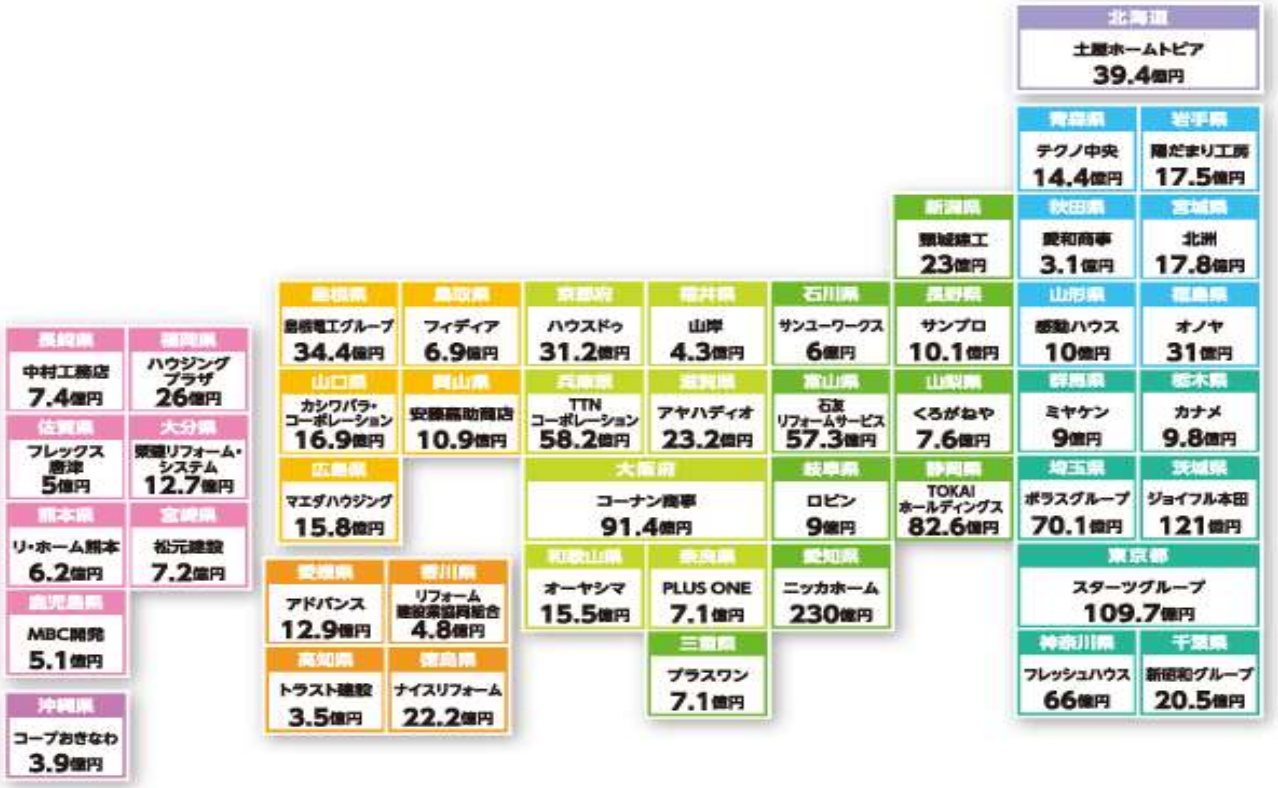
発行：マルティックス山陽 経営企画部

現場主義

事業は人・物・金
これに現在は情報が加わる。
この事業資源の中で特に大切なのが人。
つまり人材である。
経営者の中には、この人材を人財と書く人もいる。
会社を発展させるのも、破たんに追い込むのも人材次第だ。
特に、事業を興した創業者は工場や営業現場でそして工事現場で、社員と共に常に現場に立っていた。
世界のホンダを創業した故本田宗一郎氏は、浜松の工場で社員からオヤジと呼ばれながら、社員と一緒に工場の中で油まみれになってバイクや車の開発をしていたという。
時には激怒し、スパナが飛んできたという逸話も残っている。
それでも、思い通りの試作品が出来上がると社員と一緒に、満面の笑みで肩を抱き合って喜んでいたという。
その中の社員だった河島好喜が本田宗一郎の指名を受け、2代目社長となった。
2代目で会社の将来が決まるといわれる。
それは2代目・3代目が現場にどれだけ足を運ぶか。
その頻度で決まる。
お金は社長室には落ちていない。
お金は常に現場から生まれることを忘れてはならない。

情報提供： 特別情報紙

県のリフォーム売上 No.1 は!?《都道府県別ランキング 2016》



独自調査による、都道府県別リフォーム売上のトップ全47社が出そろった。これは、大手企業を除いた、本社所在地を地盤とする各県のトップ企業をピックアップしたものだ。
岡山県No,1は、安藤嘉助商店

情報提供： リフォーム産業新聞